



# 資料

- 1 みんなのまつやま夢工房での市民からの政策提言
- 2 検討の経過
- 3 松山市環境総合計画策定後の環境行政

## 1 みんなのまつやま夢工房での市民からの政策提言

第2次松山市環境総合計画の策定にあたり、平成23年度に、「みんなで語ろう環境まちづくり～次期環境総合計画策定へ向けた提言～」をテーマに、市民メンバーが「わた毛（自然環境保全）」「グループ美環（まちの美化、ごみ減量リサイクル）」「SUN班（地球温暖化）」の3つの班に分かれ、市の関係課職員とともに以下のスケジュールで研究会、視察などを重ね、市長へ提言（市長トーク）を行いました。

提言内容については、市民・市民活動団体・事業者の参加と協力のもとに、それぞれの趣旨を生かしながら、できることから着手に努めることとします。

### (1) 平成23年度みんなのまつやま夢工房開催状況

回数	開催日	内容
第 1 回	6月28日（火）	松山市環境総合計画について ↓ 個別事業計画、 取り組み等について ↓ 各班での研究活動 ↓ 市長トークに向けてのまとめ ↓ 市長トーク及び実践活動
第 2 回	7月12日（火）	
第 3 回	7月26日（火）	
現地視察研修	7月30日（土）	
先進地視察研修	8月6日（土）	
第 4 回	8月9日（火）	
第 5 回	8月23日（火）	
第 6 回	9月6日（火）	
第 7 回	9月20日（火）	
第 8 回	10月11日（火）	
第 9 回	10月25日（火）	市長トークリハーサル
第 10 回	11月29日（火）	
	1月31日（火）	
	2月13日（月）	市長トーク

## (2) 市民からの政策提言内容

### グループ美環（ごみ減量リサイクル、まちの美化）

#### ①ごみ減量化（11提案）

##### ア. ごみ検定の実施（まつやまごみ・コンシェルジェの認定）

◎ごみに関心を持ち、学び、実践する市民をつくる、世帯に1人

##### イ. レジ袋の有料化の実施

##### ウ. 家庭生ごみの水切りの徹底（特に7～8月）

##### エ. 子どもへの教育

◎小中学校の給食で生じた調理くずや食べ残しから作った堆肥を使って育てられた、地元産の野菜や果物を学校給食へ利用して「リサイクルの輪」を完成させる

→地産地消推進につながる

##### オ. 地域（町内会やPTAなど）による資源回収活動の推進

##### カ. 古着・廃食用油の回収場所を増やす（公民館やスーパーなど）

##### キ. 市のイベントの際には、古着・廃油用油回収コーナーを設置

##### ク. 小学校など、子供服の古着バザーを学校で開催する

##### ケ. 可燃ごみへの紙の混入を減らす

◎古新聞紙で作る雑紙回収袋の配布

##### コ. 生ごみ処理容器等購入費補助事業の継続

##### サ. ごみ袋への記名

#### ②まちをもっと美しく（3提案）

##### ア. 点在するごみポイ捨て防止重点地区をつなげて、JR松山駅からコミセン、堀之内、市駅、銀天街、大街道、一番町を経て道後までの間を「恋街ロード」とする

◎「恋街ロード」のプチ美化活動に協力する事業所や市民グループを増やす取り組みを重点的にする

◎月1回のプチ美化活動への参加者は腕章をつけて清掃をする

##### イ. 観光客が松山駅から歩いて、自転車、公共交通機関で移動すると考えられる道の美化

##### ウ. 美環ゾーンのプチ美化活動に協力する事業所や市民グループを増やす取り組みを重点的にする

## SUN班（地球温暖化）

### ①交通対策における温暖化防止（9提案）

#### ア. 駐輪場案内板の設置

◎地図ではなく最寄りの駐輪場が分かる案内を

#### 【市街地での対策（自転車・徒歩の利用）】

#### イ. 駐輪場案内アナウンスの実施

◎頭上モニター、街頭モニターの活用

#### ウ. 駐輪料金の見直し

◎イベント時の値下げなど

#### エ. 歩行者天国の実施

◎第一土曜など特定の休日に開催

◎場所は観光客の多いローブウェイ街、一番町

#### オ. 駐車場駐輪場化計画

◎駐輪場設置に対する補助の周知

#### 【郊外における対策（公共交通機関の利用）】

#### カ. 事業者との連携による駐車場の確保

◎郊外で広い駐車場を持つ企業と最寄りの駅、バス停が駐車場を共有する

#### キ. お買い物ループバス

◎一日乗車券の有効活用

◎格安での定期券販売

#### ク. バス停の増設

#### ケ. 公共交通機関の補完

### ②真っ暗ナイトの灯（5提案）

【実質的な電力の削減だけでなく、節電の意識を心に灯すことをイメージ⇒「日」を「灯」に】

ア. 月に一度、夜に電気の利用を控える日を設定する（市内の華美な照明も控える）その日は、早く休む、家の一カ所に集まる、外出はしないなどの生態時計を正す行動や、家族の団らんを楽しみながら節電をする

イ. 公民館などで、地域住民と触れ合いながら子どもに環境教育を行う「真っ暗ナイトの灯～お泊り会バージョン～」をつくる

#### ウ. ロゴマークを作成する（企業の節電評価）

◎事業に参加する企業を募り、情報を提供してもらう

◎節電していると認められたらロゴマークのステッカーや認定書を配布

エ. ごみカレンダーに家電等の単位時間当たりの消費電力（電気使用料）を掲載する

オ. 使用電力を視覚的に確認できる機械を自宅に導入する際に補助する制度を設ける

### ③緑の松山プロジェクト（6提案）

#### 【住民を巻き込んだ放置林の管理】

ア. 放置林を無料で借りて、ボランティアが整備する（市が仲介役を行う）

#### 【割り箸を使った環境教育】

イ. 市の間伐材や竹で作った割り箸を小中学校の給食で利用する

- ◎モデル校を指定し、期間を区切って実施
- ◎炭焼き、暖炉、資源化等可燃ごみにしない工夫

#### 【放置林を活用したイベントの実施】

ウ. 子どもが行える間伐体験

エ. 木材を利用したものづくり（日曜大工等）

オ. 大そうめん流し大会

- ◎市長が坊っちゃんの格好をして松山城天守閣から流す
- ◎ギネス記録を狙う
- ◎城山の斜面を利用する
- ◎使用済みの竹は竹炭として参加者に配布

#### 【市街地の緑化推進】

カ. 城山、道後、石手川など点在する緑地を、緑の道で線としてつなぐ

### ④熱帯夜アンダー28（4提案）

#### 【道後をはじめとする松山市内で「風の道政策」を推進していく】

ア. 風の道マップの作成

- ◎祝谷方面から道後に夜間に吹く冷風の流れを地図に落とし込む

イ. 企業、市民の協力

- ◎風の道マップを利用し、ビルや家などを新築する際には、建物の向きや配置を考慮してもらう

ウ. 緑地の整備

- ◎道後温泉駅からの路面電車の軌道敷、にきたつの道、松山市役所壁面等を緑化する

エ. 最終目標として、2061年に熱帯夜数を28日以下

## わた毛（自然環境保全）

### ①里地・里山・里島をよみがえらそう（4提案）

#### ア. 水路を多自然河川としてよみがえらそう

◎現存する自然環境を活かした河川改修の実施

#### イ. 農業用水路に生物のにぎわいを取り戻す地域づくりやビオトープ水田の整備

◎田んぼ・農業用水路や河川に生き物のにぎわいを取り戻す

#### ウ. 耕作放棄地をよみがえらそう

#### エ. 地域の里地・里山・里島を巡れるウォーキングコースを創設しよう

◎コースに入れる地域が伝えたい環境資源

地域の豊かな自然、自慢したい樹木、歴史のある景観、舗装されていない里道、整備された多自然河川、有効利用されている耕作放棄地等を紹介

### ②学校にビオトープを整備し、推進・活用しよう（1提案）

#### ア. ビオトープ作りと管理

◎子どもたちや地域の人たちが描いた思いを大切に、地域の動植物を使い、地域が一体となって、学校ビオトープを作り上げる

◎どんな生き物が来るか観察し、維持管理も忘れずに、次世代にずっと引き継ぐ

◎学校ビオトープのネットワーク化

◎さまざまな生物（生物群集）を長期にわたり守っていくためには、異なるタイプや同じタイプのビオトープがつながっている、すなわちネットワーク化されていることが重要になる

◎それぞれの小学校の間の距離はいろいろな生き物が渡っていくのに最適であるため複数の小学校にビオトープを作る

## 2 検討の経過

### ①会議などの開催状況

平成24年度：松山市環境市民会議、松山市環境審議会、パブリックコメント、庁内会議

月	市民意見聴取	庁内調整
4月		
5月		策定本部会（第1回）
6月	松山市環境市民会議（第1回） 「第2次松山市環境総合計画策定方針(案)について」	
7月	松山市環境市民会議（第2回） 「現況を把握し、 松山の将来の環境像を具体化しよう」	
8月	松山市環境市民会議（第3回） 「将来の環境像を実現するための 基本目標を考えよう」	
9月	松山市環境市民会議（第4回） 「将来の環境像を実現するための 基本施策を考えよう」	
10月	松山市環境市民会議（第5回） 「将来の環境像を実現するための 基本施策を考えよう」	
11月	松山市環境市民会議（第6回） 「将来の環境像を実現するための 基本施策を考えよう」	策定部会（第1回）
12月		策定部会（第2回） 策定部会（第3回）
1月	松山市環境審議会（第1回）	策定本部会（第2回）
2月	パブリックコメント (2月15日～3月18日)	
3月	松山市環境審議会（第2回）	策定本部会（第3回）

## ②松山市環境市民会議委員名簿（敬称略）

循環型のまちづくり たから 班	低炭素型のまちづくり あしたば 班	環境保全型のまちづくり 橘 班
中 村 和 雄 ◎	水 口 結 貴 ◎	濱 口 英 之 ◎
伊 藤 好 信	越 智 正 治	嶋 村 美 和
十 川 泰 成	柏 野 永 理	清 水 みどり
田 中 静 江	小 林 け い	駄場元 順 子
濱 崎 みちゑ	松 永 紗 弥	松 田 美 律子
林 知 美	松 本 拓 郎	丸 橋 温
松 浦 真 里	山 内 カネ子	

表中「◎」は班長を表す。

## ③松山市環境審議会委員名簿（敬称略）

氏 名	所 属
妹 尾 克 敏 ◎	松山大学 教授
佐々木 ひろみ ○	住環境研究所 所長
戒 田 節 子	南海放送株式会社 アナウンサー
古 森 裕 朗	株式会社伊予鉄高島屋 総務部長
榊 原 正 幸	愛媛大学 教授
秀 野 東洋夫	愛媛県環境カウンセラー協議会 事務局長
玉 井 建 三	聖カタリナ大学 教授
西 岡 千佳子	フロンティア北条 副代表
三 好 世 津	株式会社三好食産 代表取締役会長
森 映 一	JA松山市 代表理事組合長

表中「◎」は会長、「○」は副会長を表す。



## ④第2次松山市環境総合計画策定本部会

策定本部	
副市長 ◎	行政改革推進課長
環境部長 ○	財政課長
会計管理者	企画政策課長
総務部長	市民政策課長
契約管理担当部長	保健福祉政策課長
理財部長	環境政策課長
総合政策部長	都市政策課長
危機管理担当部長	下水道政策課長
水資源担当部長	産業政策課長
坂の上の雲まちづくり担当部長	教育委員会事務局生涯学習政策課長
市民部長	消防局総務課長
保健福祉部長	公営企業局企画総務課長
社会福祉担当部長	
都市整備部長	
開発・建築担当部長	
下水道部長	
産業経済部長	
競輪事業担当部長	
農林水産担当部長	
教育委員会事務局長	
消防局長	
公営企業局管理部長	

表中「◎」は本部長、「○」は副本部長を表す。

## ⑤第2次松山市環境総合計画策定部会

循環部会	低炭素部会	環境保全部会	環境配慮部会
水資源担当部長付主任	技術管理課主査	技術管理課主査	広報課主事
清掃課主事	環境事業推進課主任	企画政策課主事	市民参画まちづくり課主任
清掃施設課主査	地域経済課主任	坂の上の雲まちづくりチーム主任	環境事業推進課主事
南クリーンセンター主任	都市政策課技師	公園緑地課主査	環境指導課主任
西クリーンセンター主任	総合交通課主査	観光産業振興課主事	清掃課主事
廃棄物対策課主事	松山駅周辺整備課主査	農林水産課主査	生涯学習政策課主任
下水道施設課技師		農業委員会事務局主事	

## 3 松山市環境総合計画策定後の環境行政

年 月	循環型社会	低炭素型社会	環境保全型社会	環境配慮型社会
平成15年4月	横谷埋立センター 供用開始			
平成15年7月				「松山のまちをみんなで美しくする条例」が施行
平成16年7月				市民大清掃の参加者がギネスに認定
平成17年3月				松山市環境まちづくりマニュアルを策定
平成18年3月			6企業と環境保全協定を締結	
平成18年9月	北条クリーン センター休止			
平成19年8月	NTT西日本と不法投棄監視 カメラの電柱添加に関する基本 契約を締結			
平成19年11月	松山市医師会などと在宅医療の 適正処理に関する協定を締結			
平成20年1月		サンシャインプロジェクト開始		
平成20年4月	中島クリーンセンター休止			
平成20年11月		グリーン電力証書を扱う資格を 自治体として全国で初めて取得		
平成21年1月	資源物の持ち去り行為防止 対策のための条例を施行			
平成21年8月		サンシャインレース松山開始		
平成22年3月			堀江新池が農林水産省のため 池百選に選定	
平成23年1月		次世代エネルギーパーク計画 の認定		
平成23年4月	ペットボトルの別排出開始		PM2.5の測定開始	
平成24年6月			和気浜緑地整備事業が平成23 年度全建賞を受賞	
平成24年7月				本市の環境学習施設とフライブルク市の環境学習施設との間で エコフレンドシップ協定を締結
平成24年10月		花園町通りにおいて、車線を減らし、歩道を拡大する交通社会 実験実施		
平成24年11月		電気自動車、電動アシスト付自転車などのシェアリング社会実験を実施		
平成24年12月		交通関係環境保全優良事業者等大臣表彰を受賞		
平成25年2月			レッドデータブック松山2012 及び概要版発刊	
平成25年3月		環境モデル都市に選定		
平成25年4月	(新)西クリーンセンター供用開始予定			

## 第 2 次 松 山 市 環 境 總 合 計 画

発 行 日 平成25年3月  
編 集 ・ 発 行 松山市環境部環境政策課  
〒790 - 8571 松山市二番町4丁目7-2  
Tel 089 - 948 - 6459  
Fax 089 - 934 - 1812  
E-mail [kankyouseisaku@city.matsuyama.ehime.jp](mailto:kankyouseisaku@city.matsuyama.ehime.jp)

